

平成二十九年 開成中学校 (国語)

一

問一 昔とは違い、子供が体を動かして遊ぶのもただではできないということ。

問二 かつて墓の木の枝を折ったことへの後ろめたさはあるものの、流産のつらさをまぎらす手作りの物への思いは変わってはいない。

問三 かつて祖母に言われた通り、唐松は育ち、自分は家庭をもったが、お金に余裕がなく、家を建てることまではできなかつたから。

問四 自分と同じ年齢で死んだ木に対するせつなさをおさえられず、せめて大切に扱ってあげようと思っている。

問五 兄は、あまり自分の気持ちを表さず大人びているおだやかな性格だが、弟は、無邪気で感受性豊かな性格である。

問六 A 過多 B 成績 C 雑貨

D 営 E 局地

二

問一 自分の動作に尊敬語を使ってしまっている点。

問二 とても高価で貴重だった食べ物であるアイスクリームを口にするときの気持ちの高まりによって、自分がまるで立派な人であるかのような気分になったから。